

各種施設用手すり 小便器用手すり



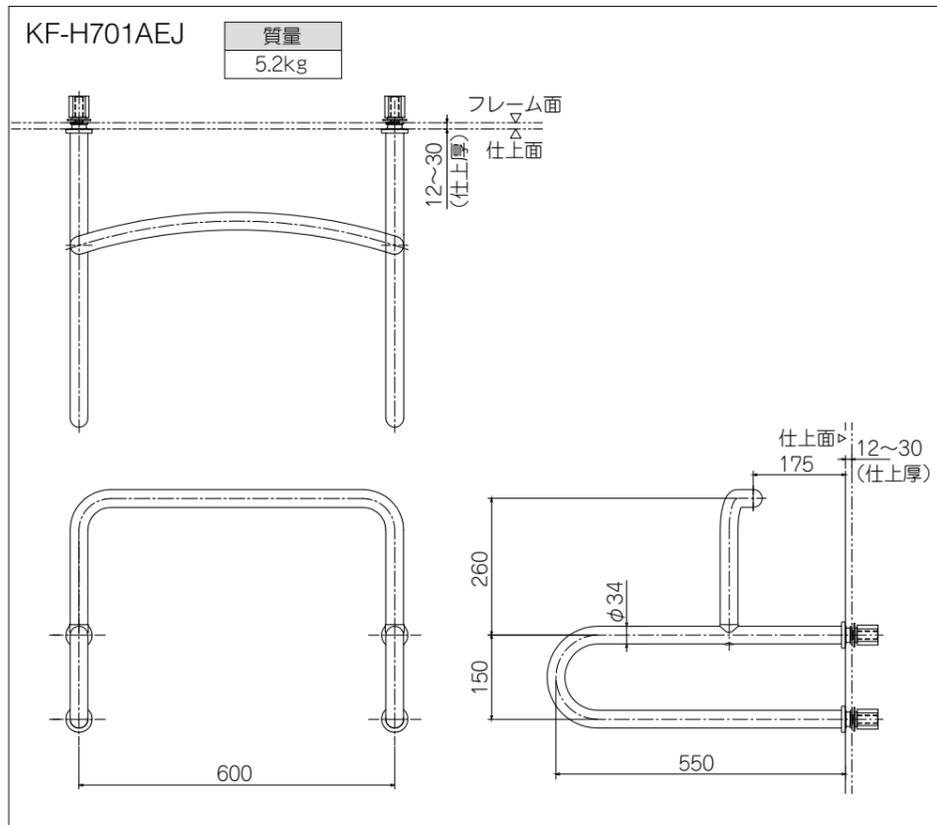
このQRコードは
メーカー管理用です。

最大使用者体重	100kgまで
材質	(手すり(被覆材)) エラストマー (手すり(芯材・ブラケット)) ステンレス (ブラケットカバー) ABS樹脂

KF-H701AEJ

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●商品図



●安全上のご注意

- 施工前に、この「●安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工後はお客さまにご使用方法を十分にご説明ください。ご使用方法は、取扱説明書：「●ご使用上の注意／パブリック用手すり樹脂被覆タイプ」に記載されていますので、必ずお渡しください。
- この施工説明書はお客さまに保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明

- 注意** …… 「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠** …… 「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- 🚫** …… 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
- 🚫** …… 「分解してはいけません！」
- 👉** …… 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 注意

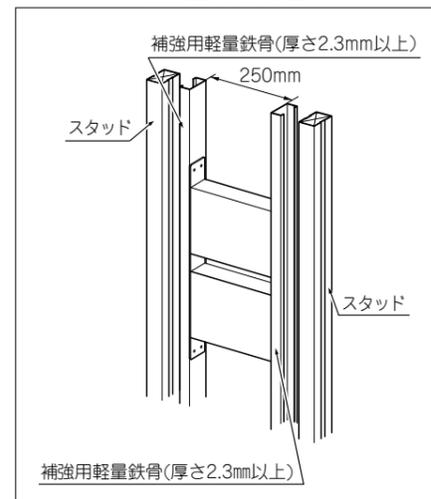
手すりに強い応力が加わった状態で取り付けないでください。 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。	🚫
強度のあるライニングフレームに確実に取り付けてください。 ※強度のないライニングフレームに取り付けると手すりの脱落や壁の破損によりケガをする恐れがあります。	🚫
屋外や水没する場所に取り付けないでください。 ※手すりの破損や脱落により使用される方が転倒し、ケガをする恐れがあります。	🚫
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	👉
外れたり、ガタが生じないように、強固に取り付けてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	👉
施工時に、硬いものをぶついたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 ※商品が傷ついたり、ケガをするおそれがあります。	👉

落下事故防止のため、後述の「●固定方法」に従って、固定してください。

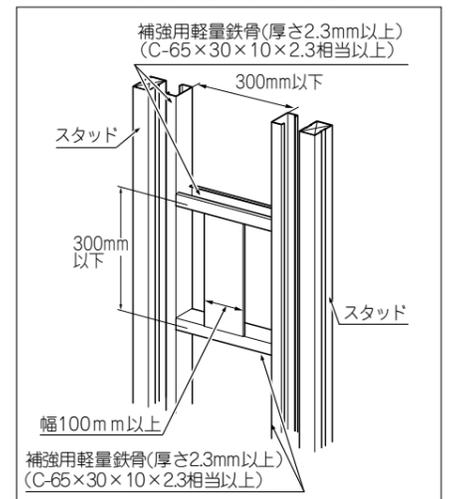
●施工前のご注意

- 本製品はセンサー一体形小便器(U-A12AP)専用です。他の便器と組み合わせた場合、ケガに繋がるスキマが発生する可能性があります。
- 手すり施工には別売の施工部材または、現場調達部材をお使いください。
- ライニングフレームに取付ける手すりです。
- 専用ライニングフレームを別途手配頂くか、ライニングフレームを現場調達してください。
- 専用ライニングフレーム以外の現場調達ライニングフレームに取付ける場合は、取付金具：KF-D21(別売)を別途手配いただくか、厚み3.2mm以上の補強鋼板を現場調達してください。
- 取付金具：KF-D21(別売)または、補強鋼板を固定する場合、事前にライニングフレームに□50×t2.3相当以上の鋼製柱または、厚さ2.3mm以上の補強軽量鉄骨を設置してください。
- ライニングフレームが壁や床に強固に固定されていることを確認してください。
- ライニングフレームにKF-D21(別売)か補強鋼板が強固に固定されていることを確認してください。

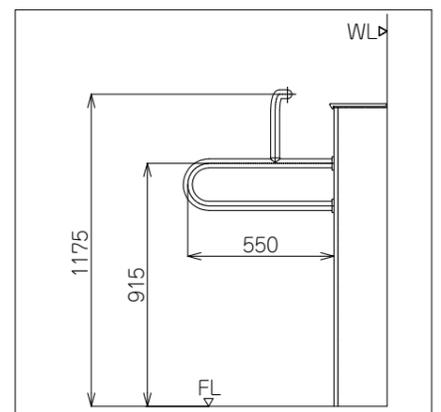
＜取付金具の場合＞



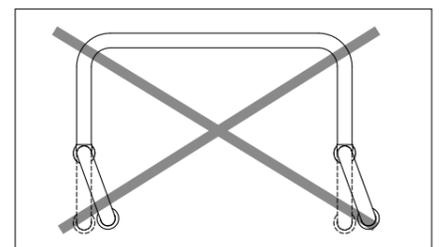
＜現場調達鋼板の場合＞



- 取付前に、取付壁に突起や不陸がないことを確認してください。
- 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
※汚れがとれなくなる恐れがあります。
- 仕上パネルの厚みが12mmよりも厚い場合は同梱のワッシャーを使用し、仕上パネルから手すり先端の芯までが550mmになるようにしてください。
(専用ライニングフレームの場合はt=2.3mmのワッシャーを1枚ずつ入れてください。)
- 手すりは小便器を取付ける前に取付けてください。
(小便器を取付けた後に取付ける場合は、台などに乗ってナットを締め付ける必要があります。)
- 手すりの取付高さの推奨値は右図の通りです。



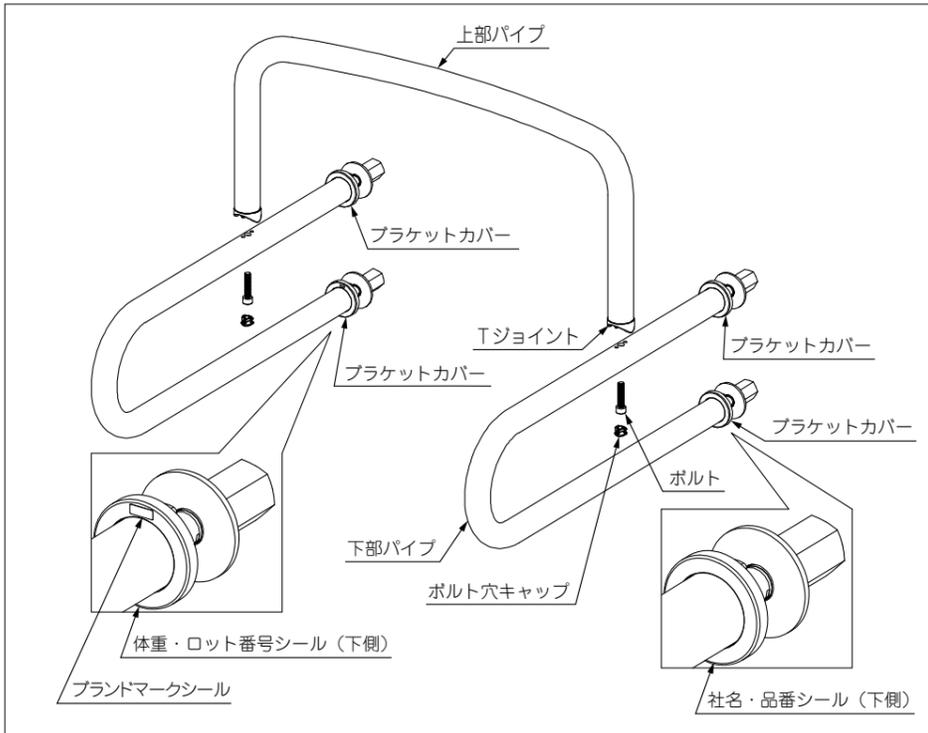
- 右図のように手すりに無理な力が加わるような状態で施工しないでください。上部パイプと下部パイプの接続部が破損したり、下部パイプの間隔が広がって頭が挟まり、ケガをする恐れがあります。



●同梱内容

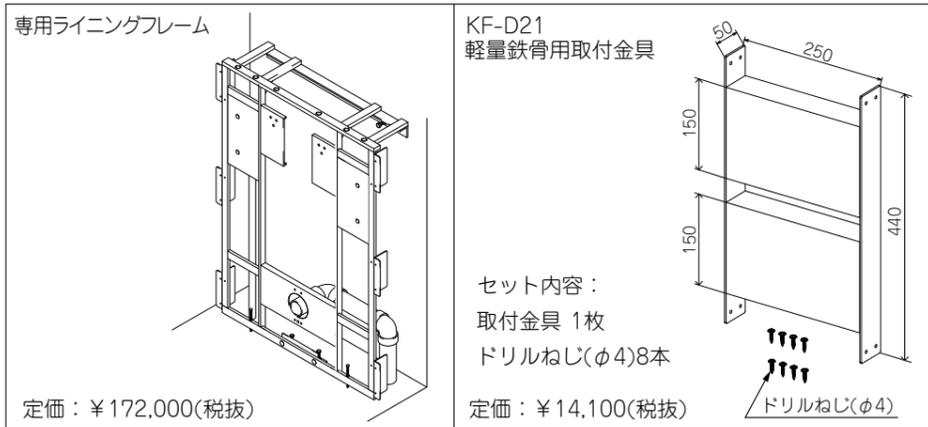
上部パイプ：1本	外径φ45mm t=3.0mm ワッシャー：4枚	外径φ28mm t=4.0mm ばね座金：4枚	M16×40mm 高ナット：4個
下部パイプ：2本	M8×35mm 六角穴付きボルト：2個	ボルト穴キャップ：2個	ブラケットカバー：4個
	外径φ32mm t=1.0mm ワッシャー：4枚 (出寸調整用)	外径φ32mm t=2.3mm ワッシャー：4枚 (出寸調整用)	外径φ32mm t=3.2mm ワッシャー：20枚 (出寸調整用)

●各部名称



●固定方法

施工部材は別売です。ライニングフレームに合わせて選択し、別手配してください。

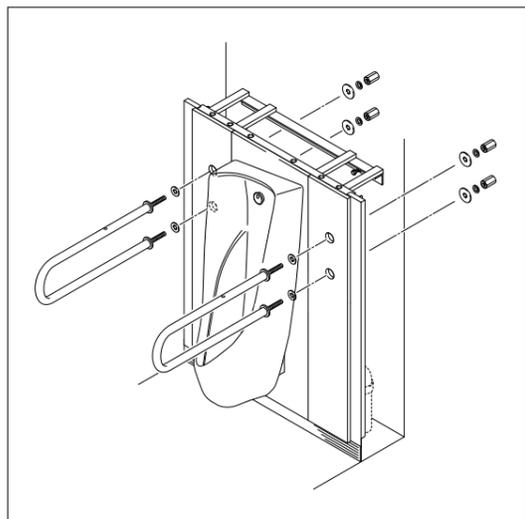


【専用ライニングフレーム】

専用ライニングフレーム(別売)使用の場合

施工部材 専用ライニング 1台	現場調達部材 (なし)
--------------------	----------------

- ①専用ライニングフレームを壁・床に取付けます。
※専用ライニングフレームの施工説明書をご確認ください。
- ②小便器を専用ライニングフレームに取付けます。
※小便器の施工説明書をご確認ください。
- ③本書の「●施工方法」に従い、手すりを取付けてください。

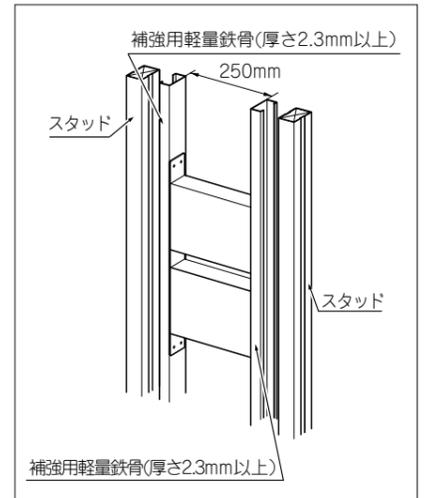


【現場調達ライニングフレーム】

軽量鉄骨用取付金具KF-D21(別売)の場合

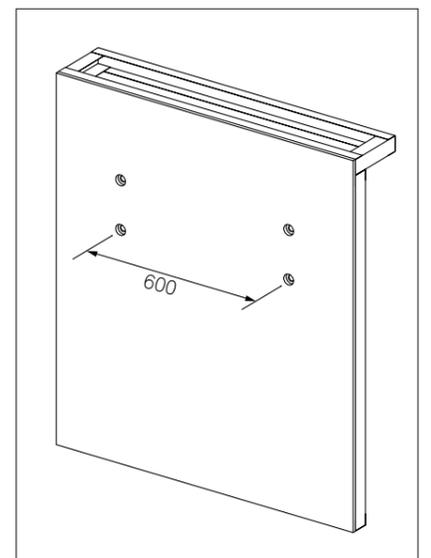
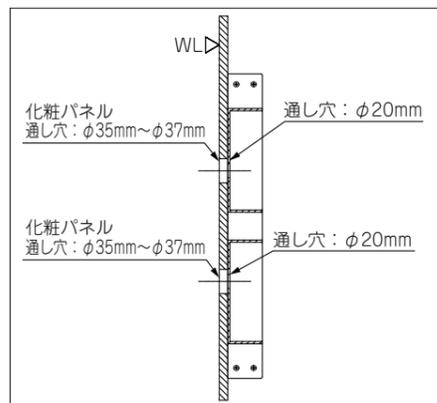
施工部材 KF-D21 2セット	現場調達部材 ライニングフレーム
---------------------	---------------------

- ①事前にライニングフレームに□50×t2.3相当以上の鋼製柱または、t=2.3mm以上の補強用軽量鉄骨を所定の位置に設置する。(現場手配)
※ライニングフレームの内寸が250mmになるように配置してください。
- ②手すりの取付位置に合わせて取付金具を補強用軽量鉄骨にドリルねじで固定しておきます。
※ドリルねじは取付金具に同梱されています。



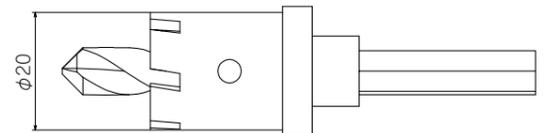
- 注意**
- ・取付金具を取り付ける場合は、補強用軽量鉄骨を内寸が250mmになるように配置ください。
 - ・取付金具は必ず、厚さ2.3mm以上の補強用軽量鉄骨に取り付けてください。
 - ※商品が外れたり、壁が壊れたりすることがあります。

- ③下部パイプを取付けるため、取付穴をあけます。化粧パネルにφ35mm～φ37mmの通し穴をあけ、取付金具にφ20mmの通し穴をあけてください。



- ④「●施工方法」に従い、手すりを取付けてください。

- 注意** 取付金具への穴開けにはφ20mmのホールソーが必要です。事前にご準備いただけますよう、お願い致します。



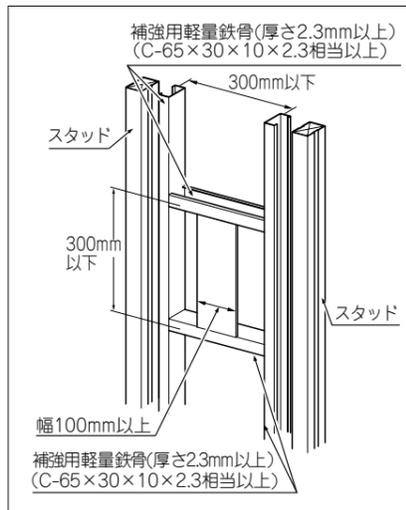
【現場調達ライニングフレーム】

鋼板現場調達の場合

施工部材
(なし)

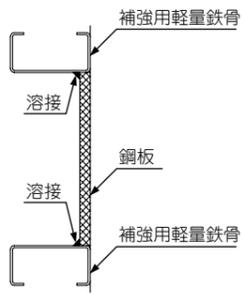
現場調達部材
・ライニングフレーム
・鋼板 (t=3.2mm以上5.0mm以下)

①事前にライニングフレームに□50×t2.3相当以上の鋼製柱または、t=2.3mm以上の補強用軽量鉄骨を所定の位置に設置する。(現場手配)

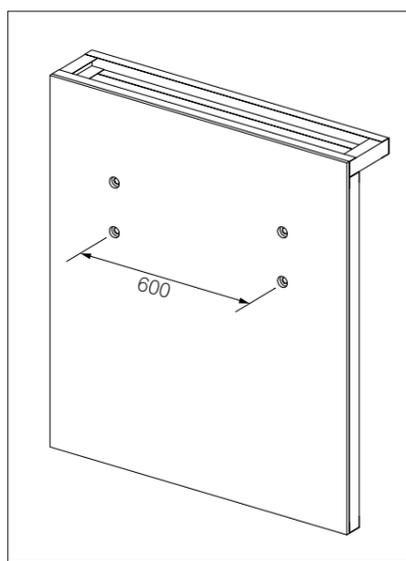
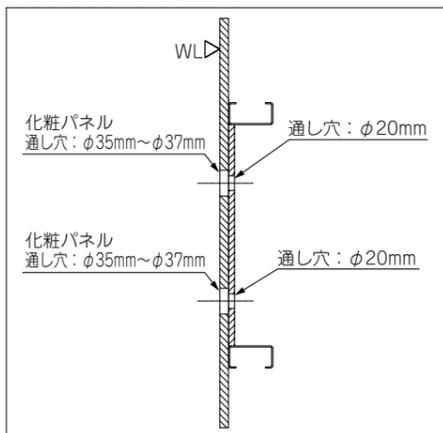


②補強用軽量鉄骨に鋼板を溶接します。

注意 鋼板は必ず鉄骨に溶接してください。
※強度が足りない恐れがあります。

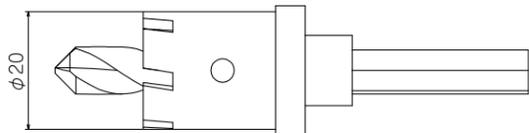


③下部パイプを取付けるため、取付穴をあけます。化粧パネルにφ35mm～φ37mmの通し穴をあけ、取付金具にφ20mmの通し穴をあけてください。



④「●施工方法」に従い、手すりを取付けてください。

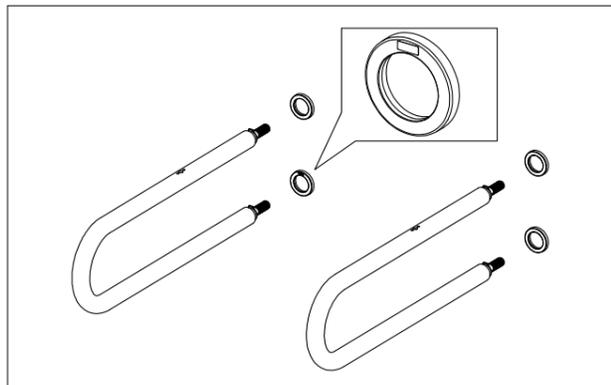
注意 鋼板への穴開けにはφ20mmのホールソーが必要です。
事前にご準備いただけますよう、お願い致します。



●施工方法

(1)ブラケットカバーを下部パイプに通します。

※「●各部の名称」で指定のブラケットカバーを向きに注意の上、配置してください。



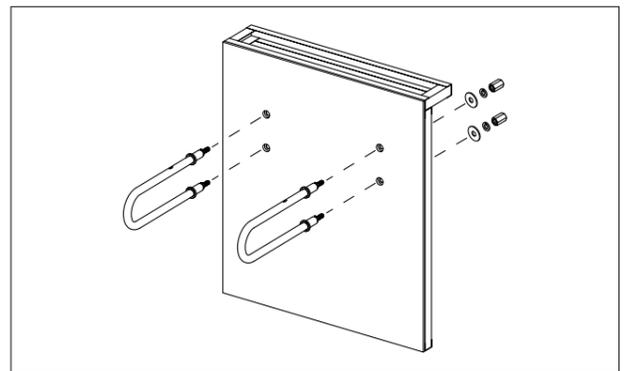
(2)ライニングフレームの裏側からワッシャー、ばね座金、高ナットで強固に締め付けます。

※左右の下部パイプの高さが同じになるように施工してください。
※手すりに無理な力が加わるような状態で施工しないでください。

仕上パネルの厚みが12mm以上の場合は、同梱の出寸調整用ワッシャーにて手すり先端の出寸が550mmになるように調整してください。



指示実行



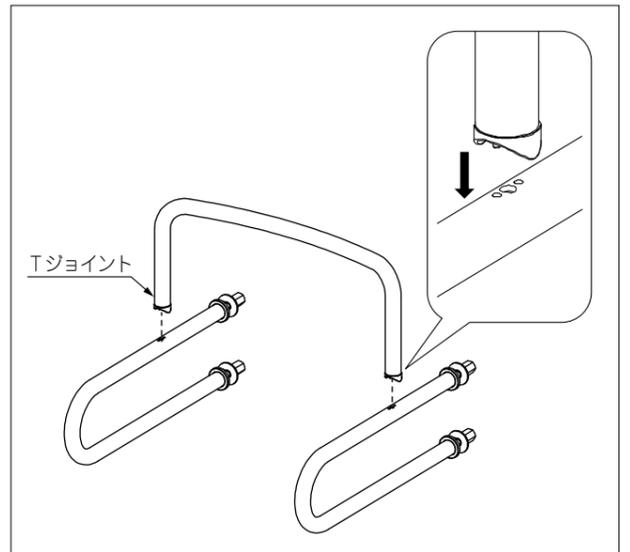
(3)上部パイプを下部パイプに固定します。上部パイプに組付いているTジョイントのピンを下部パイプに差し込んでください。

※上部パイプに組付いているTジョイントで下部パイプを傷つけないように注意してください。

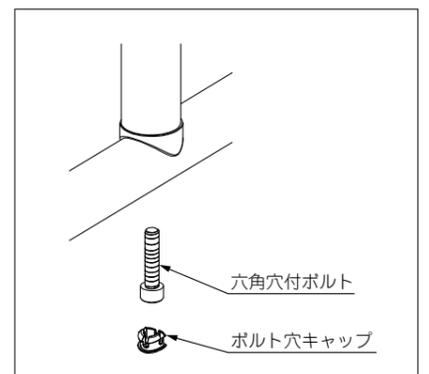
手すりは小便器を取付ける前に取付けてください。(小便器を取付けた後に取付ける場合は、台などに乗ってナットを締め付ける必要があります。)



指示実行

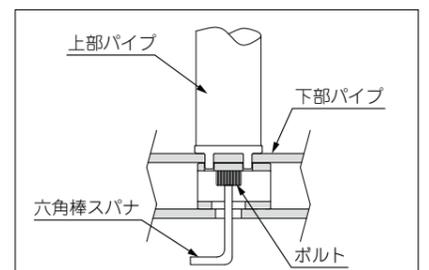


(4)パイプ内側に六角穴付ボルトを挿入します。



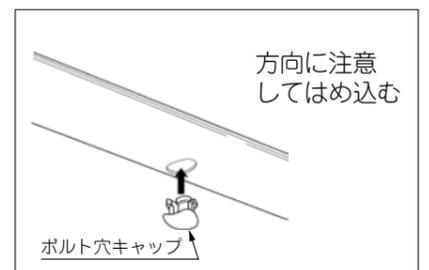
(5)ボルトを同梱してある六角棒スパナでパイプ内面に押し付けながら強く締め付けます。

※締め付けが不十分な場合、後で手すりがガタつく恐れがあります。

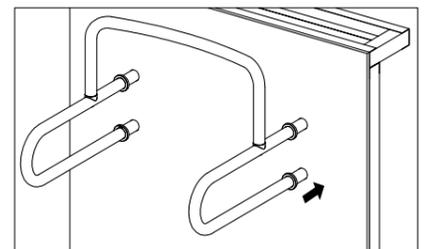


(6)ボルト穴キャップをパイプのRに合わせはめ込んでください。

※方向をまちがえると指を引っ掛けガの原因になります。



(7)最後にブラケットカバーの両面テープの離型紙をはがし、化粧パネルに貼りつけてください。



取扱説明書

●ご使用上の注意／パブリック用手すり樹脂被覆タイプ

- 安全のために守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。
※この「●ご使用上の注意／パブリック用手すり樹脂被覆タイプ」に記載されていない使い方をされ、それが原因で破損や事故が生じた場合は、保証いたしかねますので十分ご注意ください。

⚠ 注 意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	 分解禁止
手すりがガタついたり、破損したままの使用はしないでください。 ※落下したり、破損部位でケガをする恐れがあります。	 禁止
ぶら下がったり、上に登ったりなど手すり以外の用途に使わないでください。また、硬いものをぶついたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。 ※手すりや取付部の壁が破損してケガをする恐れがあります。	 禁止
清掃時、シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。 ※変質・変形し割れたり折れやすくなる恐れがあります。	 禁止
1日1回以上、定期的到手すりを握って揺らしてみ、ガタつきや破損部位がないことを確認してください。 ※手すりの破損や脱落により、ケガをする恐れがあります。	 指示実行
最大耐荷重は、垂直荷重 1500N・水平荷重 800Nです。 (品番末尾が「J」の製品) それ以上の荷重を加えると外れてケガをする恐れがあります。	 指示実行
介助が必要な使用者の場合、介助者は事故が発生しないように十分に注意してください。 ※使用者が手すりをしっかりつかめなかったり、つかみ損なったりなどにより、重大事故につながる恐れがあります。	 指示実行
手すりとライニングや壁の間、あるいは手すりと他の器具の間に頭、手、腕などの身体が入り込まないように十分に注意して使用してください。 ※身体が挟まるなどにより、重大事故につながる恐れがあります。	 指示実行
手すり固定の高ナットが緩んでいる場合は、締め直してください。 ※手すりの破損や脱落により、ケガをする恐れがあります。	 指示実行
ぬれた手や、せっけんのついた手で手すりを使用するときや、手すりがぬれていた、せっけんがついているときは、十分に注意して使用してください。 ※手が滑り、重大事故につながる恐れがあります。	 指示実行

- 毛染剤、化粧品や除光液がついた場合はすみやかにふき取ってください。
※変色や変形の恐れがあります。
- 色落ちするタオル等を掛けないでください。
※色移りすることがあります。
- ハンドドライヤー等で熱を直接あてないでください。
※商品が変形、変色する恐れがあります。
- 室温が常に65℃以上となる場所では、使用しないでください。
※商品が変色する恐れがあります。

●お手入れ

- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみこませた布でふき、そのあとすぐ水拭きをし、乾いた布で拭き取ってください。
※特に尿などアンモニア類が付着したまま放置すると、変色や光沢が損なわれる恐れがあります。
- 商品を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
 - 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシ等
 - シンナー、ベンジン等の溶剤
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、すぐにタイルや商品を十分水洗いし、乾いた布で水分をふきとってください。
※商品を傷める恐れがあります。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターまで

TEL ☎0120-179-400

受付時間 平日 9:00~18:00

FAX ☎0120-179-430

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

フリーダイヤルは、携帯電話、PHS、IP電話などご利用になれない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は

お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで

(ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>)

TEL ☎0120-179-411

受付時間 9:00~19:00 365日受付

FAX ☎0120-179-456